

折々の記 No185 : 激動の予兆！

(平成 23 年 12 月 22 日記)

世界の特異国家である北朝鮮の金正日朝鮮労働党総書記が、12月17日8時半に現地視察に向かう列車内で、肉体的過労のため死亡したと、19日日本時間12時からの特別放送で例のアナウンサーが感情を込めて発表した。国営メディアは、金総書記が「心筋梗塞を起こし、心原性ショックを併発した」とし、三男の金正恩が後継者になると報じた。幾つかの疑問や所見があるので、それらを述べる。



- ①死亡から2日余りの空白は何を意味するのか？発表に手間取った理由が解らない。この間、北朝鮮権力機構内部で何が行われたのか、推測する事は難しい。葬儀の日時や諸手続きに時間を費やした？のであれば、矢張り金正恩の権力継承が未だ道半ばということか？
- ②本当に病死なのか？当日列車は動いていなかったとの報道もあるが… 疑問なしとはしない。平壤郊外の別荘で死亡したとの情報もあるが、…
- ③金正恩の権力継承はスムーズに行われるか？十分な時間をかけての権力継承でないの、その移行間どのような体制で統治が行われるのか？
- ④軍は果たして金正恩に忠誠を誓うか？
- ⑤日本は止むを得ないとしても韓国や米国は情報収集能力の不完全性を露呈したが、本当に掴めなかったのか？今後の改善方向は？
- ⑥金正恩が大將名で命令1号を発したと云われるが、それが素直に受け入れられるのか？権力闘争が起きる可能性もあるのではないかと注視する必要がある。
- ⑦後見人を自認する中国は金正恩体制をどのように支えようとするのか？
- ⑧北朝鮮が弱点を露呈している今こそ、韓国としては何らかの行動を起こすべきではないかと思うが、…結局拱手傍観するしかないか。北の脅威を取り除くことは選択肢に入っていない？
- ⑨北朝鮮国民の信任を得る為に金正恩は如何なる選択を行うか？外に目をむかせる？一時的に保有或いは緊急援助を受けた食料等を放出する？また、長期的にはどこに向かうのか？
- ⑩日米韓は何をすべきか？警戒監視に万全を期すのは当然だとしても、
- ⑪さて、日本であるが、野田首相や国家公安委員長の危機管理に問題点が投げかけられている。首相秘書官には特別放送の意味も届いていたようだが、首相は聞いていなかった？官房長官からの電話で官邸に引き返したとなっているが、危機意識が希薄すぎる。
- ⑫如何なる不測事態が起きるのか、それに対していかなる対策をとるのか、どれほど検討されているのか？

⑬日本に密入国しているようだが、当時掌握できていなかったのか、敢えて見逃したのか？真相はどうだったのか？

何れにしても、金正恩体制は極めて脆弱であり、北朝鮮が不安定化する可能性は極めて高い。我が国としてはいかなる事態、不測の事態にも十分対応し得る態勢を速やかに整えなければならない。(了)